

令和6年度静岡県富士登山入山管理に関する調査業務委託

■業務概要

世界文化遺産である富士山では、登山者の入山管理をめぐる問題が深刻化する中、特に静岡県においては、夜間に十分な休息をとらず山頂を目指す弾丸登山や軽装での危険な登山が大きな課題であった。令和6年夏に山梨県側で登山規制の条例が施行されたことを受け、静岡県側においても令和7年夏を見据えた対策の検討が急務となっていた。本業務は、静岡県が定める登山規制策を前提に、令和7年夏の開山期における静岡県側の3登山口（富士宮口、御殿場口、須走口）の円滑な入山管理（登山におけるルール・マナーの徹底、入山料の納付、登山時間等）に向けた調査・検討業務を行った。

<業務の全容>

- ① 入山証（QRコード）の確認、事前学習等の対応スタッフが駐在・使用する仮設コンテナの設置案提示
- ② 入山管理の全体像の整理（運営コスト算定、周知資料作成など）
- ③ 関係者会議等の運営支援による円滑な合意形成の促進

時期		9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
業務内容	①	現地調査		構造物の仕様/イメージ図作成		構造物の配置図作成		申請書類整理
	②	全体の運営コスト（概算）の算定				来夏の入山管理の周知用資料作成		
	③	 9/30(富士宮)	 10/2(御殿場)	 10/9(須走)	 11/21(安適会)			 3/21(安適会)

-  各登山口の関係者会議
-  静岡県安全快適な富士登山推進会議
-  旅行事業者向けオンライン説明会

■ 主な業務紹介（ピックアップ）

<登山ゲートおよび哨舎の設置案提示>

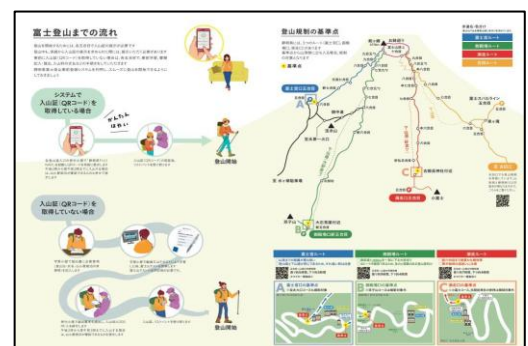
令和7年夏の開山期間中、3登山口の五合目において24時間体制での入山管理を行うことを想定し、施設の設置計画を立案した。県や市町、警察等の関係者と合同で現地調査を実施し、その結果と関係者会議での意見を踏まえ、スタッフが使用する受付コンテナや哨舎といった仮設コンテナの設置案をとりまとめた。成果として、具体的な構造物の仕様、イメージ図、各登山口への配置図を作成し、来夏の整備に向けた具体的な検討基盤を提示した。



<入山管理の全体像の整理>

制度を実際に運用するための体制とコスト、そして登山者にルールを周知するための方策について、具体的な検討と資料作成を行った。運営コストの算定では、3登山口に必要となる受付・警備スタッフの配置案から人件費や機材費を積算。多言語での周知資料作成では、国内外の登山者へ新しいルールを分かりやすく周知するため、広報パンフレット（日本語＋7言語対応）等を企画・作成した。

広報パンフレットの構成	
1 ページ目 (上段右面)	・2025年開山期から 登山規制を行います ・(対象) 富士宮口・須走口・御殿場口 ・入山の条件：事前学習の修了→入山料の納付、午後2時～翌午前3時までの時間帯に入山する場合は山小屋宿泊が必要 ・(開始時期) 事前登録開始 2025年5月9日から ・(実施主体) 静岡県
2 ページ目 (下段、左面)	・富士登山までの流れ (ルールを示す) ・(システムで入山証を取得するとカンタン)
3 ページ目 (下段、右面)	・登山規制の基準点 ・(登山ルート別の基準点=ゲートA・B・Cを模式図で図示)
4 ページ目 (上段、左面)	・静岡県富士登山事前登録システムで入山証を取得しましょう (手順を図示) ・Q&A よくあるご質問、問合せ先



＜多様な関係者との円滑な合意形成支援＞

円滑な制度導入には、行政、山小屋組合、観光事業者といった多様な関係者の理解と協力が不可欠である。本業務では、各種会議の運営を全面的にサポートし、円滑な議論と意思決定に貢献した。静岡県安全快適な富士登山推進会議においては、調整、会場・オンライン設備の手配から、議論の基礎となる配布資料や議事録の作成までを担当し、関係者間のスムーズな情報共有と合意形成のプロセスを支えた。

主な支援会議：

登山口別関係者会議（富士宮口、御殿場口、須走口）

静岡県安全快適な富士登山推進会議（計２回）

旅行事業者向けオンライン説明会

